様式３(2020.08改)

作成日　令和　4年　5月　9日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391500572
事業所名	グループホームいだか翔裕館

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	自治会に加入し年1回の総会に出席している。コロナ禍で地域行事の中止も多いが、自治会ポスターの掲示をして活動に協力している。入居者は毎日の散歩で地域の方と挨拶を交わしながら交流をしている。地域に向けて情報を発信し、施設を知ってもらうための努力をしている。植木の選定に来てくださる近所の方などとの交流が深まっている。また、中学生の福祉体験は中止となったが、生徒からクリスマスカードが届けられ、ほのぼのとして交流を通して高齢者を支える大切さを学ぶ機会となっている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	コロナ禍により主に書面での開催となっている。11月にはコロナの感染状況を確認し、感染対策をして、家族、自治会長、民生委員、いきいき支援センターの職員の出席を得て開催している。事業所の活動報告や運営状況、事故報告などの説明や、地域への情報提供や協力依頼などを話題として提供し、有意義な会議となった。いきいき支援センターからは内容の評価を受けるなどして運営に役立てている。構成されたメンバーに報告書を持参したり、郵送をしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市の健康福祉課の担当職員とは日頃から運営上の疑問や相談などできる関係にある。また、介護保険の更新手続きや申請の代行業務、営業で出向いた折などに、事業所の実情や取り組みを伝え情報交換をしながら協力関係を築いている。いきいき支援センターとは、施設の現状報告や入居依頼等、良好な協力関係を築いている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聞き、記録して職員間で共有しケアに繋げている。家族からは、コロナ禍の影響もあり、現状では管理者がその都度対応し、電話や面会時、衣類の補充などの折に意見や要望を聞き、ケアや業務改善に役立てている。意見箱を設置して意見を述べやすい環境を整え、日常の様子や行事などの写真にコメントを添えたお便りを家族に送付し好評を得ている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

運営推進会議は新型コロナウイルス禍において書面での開催となっているが、11月にはコロナの感染状況を確認し感染対策をして、家族、自治会長、民生委員、いきいき支援センターの職員の出席を得て対面で開催している。面会は状況の確認や予防対策をしながら柔軟な対応をしている。家族からは届け物の時や必要に応じて電話で入居者の日々の様子を伝えたり要望等を聞いたりしてケアに活かしている。日常の様子や行事などの写真にコメントを添えたお便りは家族から好評を得ている。平常時は公園や買い物など気軽に出かけられる環境にあるが、コロナ禍で自粛をしている。今後、感染予防をしながらタイミングを見計らってワゴン車を利用し季節のお花見などの外出支援や家族の協力を得ながら外食や墓参りなどの支援も増やしていく予定にしている。

１．外部評価軽減要件

① 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

② 運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④ 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ① 運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ① 家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○									